

議第 10 号 小田原市景観評価員の選任について

1. 小田原市 景観評価員について

○小田原市景観評価員の定義

- ・ 設置の根拠 小田原市景観条例第 19 条第 1 項
- ・ 人数と身分 5 人以内 非常勤特別職
- ・ 構成 行政法、建築(都市デザイン・意匠)、ランドスケープデザイン、色彩、各分野の専門家による
- ・ 任期 2 年(令和 6 年 2 月 1 日～令和 8 年 1 月 31 日) 再任可とする
- ・ 選任 小田原市景観条例第 19 条第 3 項に基づき、都市計画審議会の意見を聴いた上で、景観に関し優れた識見を有する者のうちから、市長が選任する

○小田原市景観評価員の主な職務

- ・ 小田原市が景観法に基づく勧告や命令、及び景観条例に基づく指導、要請等の処分その他の行為をする場合に、必要に応じ、意見を聴取する。
- ・ 小田原市が景観法に基づく勧告をしたものの、勧告を受けた者がその勧告に従わなかったとき、その旨を公表しようとする場合に、2 人以上の景観評価員の意見を聴取する。
- ・ 小田原市が屋外広告物の規制の適用除外や広告協定の認定をしようとする場合に、2 人以上の景観評価員の意見を聴取する。
- ・ 小田原市が屋外広告物の許可の取消しや違反広告物等に対する措置を講ずる際に、必要に応じ、意見を聴取する。
- ・ 景観計画重点区域内における商業地域にあつては階数が 5 階以上、その他の地域にあつては階数が 4 階以上の建築物(小田原市開発事業に係る手続及び基準に関する条例第 3 条第 3 号に準拠)を建築する場合に、意見を聴取する。
- ・ 景観計画重点区域を除く市域全域における高さ 12m 以上または延べ面積 1,000 ㎡以上かつ、小田原市開発事業に係る手続及び基準に関する条例の適用対象の建築物を建築する場合に、原則意見を聴取する。
- ・ 公共施設を整備する場合に、必要に応じ、意見を聴取する。

2. 小田原市景観評価員 (案)

氏 名	職 業	主な実務等の経歴	分 野
いたがき かつひこ 板垣 勝彦	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授	・ 横須賀市情報公開・個人情報保護審査会 委員長 ・ 川崎市情報公開・個人情報保護審査会 委員 ・ 神奈川県行政不服審査会委員 ・ 静岡市政策法務アドバイザー ●小田原市景観評価員 平成 26 年 2 月～ 《主な著書》 ・「保障行政の法理論」(弘文堂) ・「良好な景観の恵沢を享受する利益は 法律上保護されるか」(法学協会)	行政法
すずき のぶはる 鈴木 伸治	横浜市立大学 国際教養学部 都市学系 大学院都市社会文化 研究科 教授	・ 千代田区景観アドバイザー・景観まちづ くり審議会委員 ・ 長野県景観審議会専門委員 ・ 逗子市景観審議会会長 ・ 三浦市景観審議会会長 ・ 秦野市景観アドバイザー ・ 元 小田原市政策総合研究所 顧問 ・ 元 小田原市公共施設再編計画基本計画 策定検討委員 ●小田原市景観評価員 令和 2 年 2 月～ 《主な著書》 ・「初めて学ぶ 都市計画(第二版)」(市ケ 谷出版社) ・「都市の遺産とまちづくり——アジア大 都市の歴史保全」(春風社)	建築 (都市 デザイン)

氏 名	職 業	主な実務等の経歴	分 野
ひこね あきら 彦根 明	株式会社彦根建築 設計事務所 代表取締役	・元 東海大学 非常勤講師 ・一般社団法人建築家住宅の会理事 ・東京藝術大学貢献会員 ●小田原市景観評価員 令和2年2月～ 《主な著書》 ・「LIFE and iPhone」（株式会社エクスナ レッジ） ・「最高に美しい住宅をつくる方法2」（株 式会社エクスナレッジ） ・「最新版 最高に美しい住宅をつくる方 法」（株式会社エクスナレッジ） ・「最高に美しい住宅をつくる方法」（株式 会社エクスナレッジ）	建築 （意匠）
みやぎ しゅんさく 宮城 俊作	ランドスケープ アーキテクト 株式会社 NeutLA パートナー 宗教法人平等院 代表役員	・元 東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 教授 ・設計組織 PLACEMEDIA ファウンディング フェロー ・一般社団法人アーバンデザインセンター 宇治 理事・副センター長 ●小田原市景観評価員 令和4年2月～ 《主な著書》 ・「ランドスケープデザインの視座」（学芸 出版社） ・「ランドスケープの近代」（鹿島出版会）	ランド スケー プデザ イン

氏 名	職 業	主な実務等の経歴	分 野
よしだ しんご 吉田 慎悟	色彩計画家 有限会社クリマ 取締役	・元 小田原市都市計画審議会委員 ・元 武蔵野美術大学造形学部 基礎デザイン学科 教授 ・TDA（景観デザイン支援機構）理事 ●小田原市景観評価員 平成18年2月～ 《主な著書》 ・「まちの色をつくる～環境色彩デザイン の手法」（建築資料研究者） ・「景観法を活用するための環境色彩計画」 （丸善） 《主な業績》 ・東京都色彩ガイドライン策定業務 ・奈良県色彩ガイドライン策定調査 ・藤沢市環境色彩調査 ・中国長沙市環境色彩ガイドライン策定	色彩・ 屋外 広告物

（五十音順）

【任 期】令和8年(2026年)2月1日から令和9年(2027年)3月31日まで
◆ 年度を通じて協議を行う案件も発生していることから、年度途中の改選
では
協議に支障を来す恐れがあるため、今期のみ任期を1年2ヶ月とする。